

【2020年度実技入試問題】

台の上になされているものを鉛筆でデッサンしなさい。

※ 台の上になされる陰影も描いてください。

画用紙F 8号サイズ (時間90分)

<注意点>

- ・画用紙の使用はタテ・ヨコ自由。イーゼルの高さや位置は少し変えてもよい。
- ・ほぼ実物大に描き、モチーフの中にある陰や台に映った影も入れる。
- ・使用する鉛筆の種類や本数に制限はない。

<解説>

試験は中央に置いた低めの台にモチーフを置き、その周りに6、7人の受験生がイーゼルを使って描く例年通りの形式である。どこに座っても有利不利がないように座席には配慮した。

出題したモチーフは、基本的な形態であること、普段よく目にするものを軸に選定した。今年度は、基本形が円錐である青色のコーンと、球体である黄色のテニスボールの組み合わせである。ポイントとなるのは、コーンに関しては、中心軸を意識して左右対称であるようにきちんと形をとることができているかである。また、テニスボールに関しては、遠近感を意識して、手前に置かれたボールと奥に置かれたボールの大きさや表面の質感の見え方の違いを表現できているかという点である。複数のモチーフが、同一平面上に配置されているという認識を持って陰影をつけることも必要である。

コーンの曲面に沿って照明の形が変化する様子を丁寧に描写したり、コーンに映り込んだボールや台も粘り強く描き込んだりする受験生が多かった。

<採点の基準>

- ・モチーフをよく観察し、理解できているか。
- ・立体感や空間の表現ができているか。
- ・最後まできちんと描こうと努力しているか。

※デッサンの練習をしたら、中学校の美術科の先生などに講評していただくことをお勧めします。

